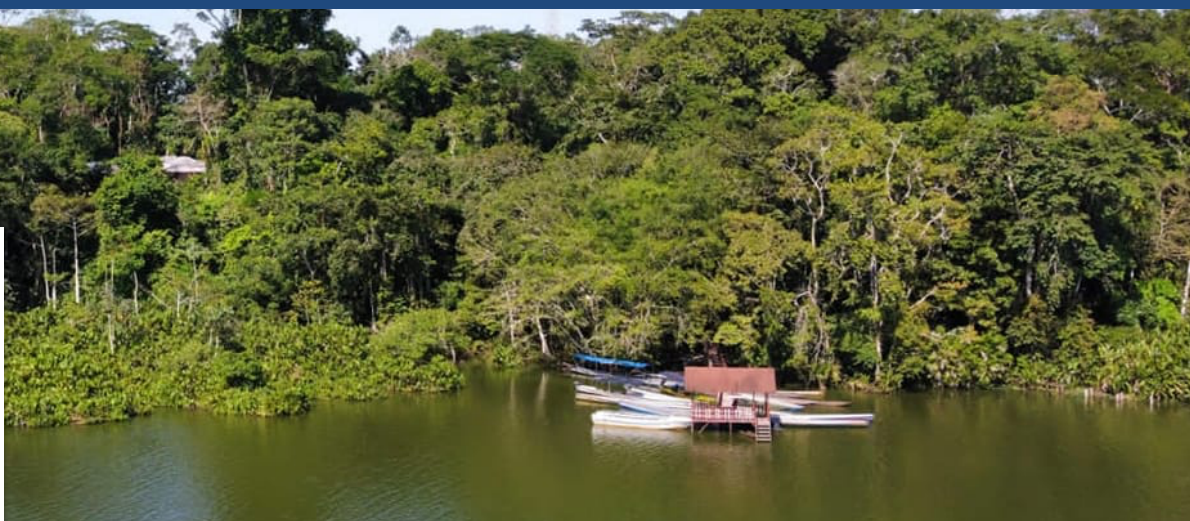


## 南米エクアドルの密林でワニと対面



“あっ！光ってます！光ってます！うわぁ～本当に光ってます。オレンジ色というよりは、赤や黄色に近い色も混ざってあちこちに見えます。岸辺に近いところで暗闇に光る

ワニの目を目掛けて、今、私たちの乗ったボートが、そっと草むらめがけてゆっくりと近づいているところです。「うわあ！！！」大丈夫です。これはまだワニに襲われた声ではありませんのでご安心ください。小さなワニをみつけて、いきなり手づかみにして私たちの前に見せてもらった時の私の感嘆の声です。体長1メートル以上もあるワニの子が長い身体をブラブラさせながらもがいています。身体をもがきながら助けを求めているようです。早速、小型録音機をスイッチ・オンしました。「リスナーの皆さん、地球の裏側、南米エクアドルの東部ジャングルに住むワニの仲間一同から日本の皆さんへのご挨拶です。」くわっ！くわっ！> ところが、録音している間に、なんとその泣き声をききつけたのか、仲間のワニが近づいてくる気配が感じられたのです。せっかく捕獲したワニでしたが、すぐに暗闇の湖にもどしてやることにしました。大きな鰐たちが押し寄せて私たちのボートが襲われることになってしまったら取材どころではありません。アマゾン源流の「レモン・コチャ（レモンの湖）」でのワニとの対面はまさに命がけの取材でした。

1979 年 4 月、エクアドル東部ジャングルの宣教師家族をたずねて、現地の教会や学校などの働きを手伝わせてもらったり、みんなでゲームをともに楽しんだりと有益な時をすごすことができました。ここにはウィックリフ聖書翻訳協会の本部があり、宣教師たちがジャングルの中で現地語を学びながら聖書を現地語にも翻訳する仕事をすすめていました。一方で、現地の部族のために、教育面でスペイン語を教え、生活面でも、機械、木工、保健に関する三ヶ月の実習コースを備え、緊急時には飛行機による人員や必要物資の輸送のサービスなどを提供するなど重要なジャングル基地となっていました。

年間雨量250ミリ～380ミリという熱帯雨林だけに、鬱蒼と茂る樹木の緑と梢に群がる数知れぬ小鳥のさえずりは別天地の感がありました。一方で、ジャングルに咲き乱れる珍しい花に魅せられて持ち帰った苗はアンデスの高原では根付かず、ジャングルのダニには三週間も悩まされうという痛痒い思い出も私には残っています。

## サタデー・トーク

## バイブル・トーク

きき手 尾崎一夫 毎週土曜日放送		淀橋教会 峯野龍弘主管牧師 毎週日曜日放送	
8月05日	エクアドル東部ジャングル（1）	8月06日	デリンジャー現象のため受信不良
8月12日	エクアドル東部ジャングル（2）	8月13日	リスナーからの『お便り交換の時間』
8月19日	エクアドル東部ジャングル（3）	8月20日	聖書遊覧バス 詩篇19編（上）
8月26日	女ばかり南米大陸に行く（ブラジル）	8月27日	聖書遊覧バス 詩篇19編（下）

放送後の番組は、ホームページ(<http://japanese.reachbeyond.jp>)のトップページ左側メニューにある『インターネット放送』のリンクページからお聴きいただけます。（mp3 形式）

放送時間：日本時間 午前7時半～8時 15.400kHz （再放送） 午後8時～8時30分 15.460kHz  
（米国アリゾナ州制作／オーストラリア送信）

